



沼津市制100周年記念事業報告書

きらり沼津。次の100年へ

沼津市 政策推進部 政策企画課
市制100周年記念事業推進室

令和6年3月31日



沼津市長 頼重秀一

沼津市は、令和5（2023）年に市制100周年を迎えました。

この大きな節目にあたり、7月1日の「記念式典」をはじめ、沼津ならではのコンテンツを集結した「記念イベント」など、様々な記念事業を開催し、沼津を愛する多くの皆様と共に市制100周年の沼津市を大いに盛り上げることができました。

本市のまちづくりにおいては、昨年3月に、「香陵アリーナ」がオープンし、多くの皆様にご利用いただいているほか、プロスポーツの試合や全日本フェンシング選手権大会を地方都市で初めて開催するなど、スポーツを活かしたまちづくりが着実に進んでおります。

また、沼津駅周辺総合整備事業の核となる鉄道高架事業においては、鉄道施設の本体工事の第一弾となる新貨物ターミナル工事が着手されるなど、本市のまちづくりは、より一層加速しております。

市制100周年の取組により高まった本市への誇りと愛着をこれからも持ち続け、沼津市を愛してくださる方々と協力しながら、魅力的なまちづくりを一層進めてまいります。次の100年への新たな一歩を力強く踏み出していく沼津市にどうぞ御期待ください。

目次

市長挨拶	1
目次	2
基本方針	3～5
記念ロゴマーク、キャッチフレーズ	6
市制100周年年記念事業年表	7～8
プレ事業	9～16
プレイベント	17～18
市制記念日までのカウントダウン	19～20
市制100周年年お祝いメッセージ動画	21～22
都市装飾	23～26
記念グッズ	27～28
記念誌	29～32
記念イベント	33～67
記念カクテル	68
沼津市歌の編曲	69～70
市制100周年通信	71～72
ご寄附	73～79
市制100周年PR用法被のリメイク	80
市制100周年記念市民提案事業一覧	81～84
市制100周年年記念後援事業一覧	85～86

事業期間

市制100周年記念日は、令和5（2023）年7月1日。
記念事業は、記念日が含まれる年度を記念事業期間とし、市制100周年に向けた機運醸成を図るため、前年度にプレ事業期間を設けて取り組みました。

- 1 プレ事業期間 令和4年6月1日から令和5年3月31日まで
- 2 記念事業期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

推進体制

- 1 沼津市制100周年記念事業推進連絡協議会
地域、産業、福祉、観光、スポーツ、文化及び教育等、各種団体の情報共有等を図るため「沼津市制100周年記念事業推進連絡協議会」を設置し、市と各種団体が連携して広報活動や機運醸成に取り組み、記念事業の円滑な推進に関し必要なことを行いました。

沼津市制100周年記念事業推進連絡協議会 構成団体名簿

沼津市	沼津市自治会連合会	沼津商工会議所
沼津市商工会	沼津青年会議所	沼津市社会福祉協議会
富士伊豆農業協同組合	沼津観光協会	戸田観光協会
沼津港振興会	沼津市スポーツ協会	沼津市PTA連絡協議会
沼津市振興公社	沼津国際交流協会	沼津市市民憲章推進協議会
沼津市消費者協会	Proud NUMAZU kosodate	沼津郷土史研究談話会



【令和5年3月17日開催の様子】

はじめに

沼津市は、大正12（1923）年7月1日、静岡県内では、静岡市、浜松市に次ぐ3番目の市として誕生し、周辺の町村との合併を重ね、平成17（2005）年に現在の市域となり、令和5（2023）年に市制施行100周年を迎えました。

基本理念

次の100年への新たな一步を踏み出すにあたり、沼津市の成り立ちや、先人達の思いを理解し、沼津の魅力を確認するとともに、誇り高い沼津を次世代に残すため、市制100周年記念事業に取り組みました。

基本的な考え方

先人達への感謝と敬意



沼津市が交通の要衝、産業の拠点、学園都市等として栄える現在があることが、多くの先人達に支えられてきたことを理解し、改めて感謝と敬意をはらう機会を創出します。

誇りと愛着



沼津市の魅力を広く発信し、本市に関係する全ての方々が、本市に対する「誇り」と「愛着」を抱いていただく機会を創出します。

市民との協働



市民一人ひとりが、未来に向けたまちづくりの担い手が自分自身であることを自覚し、市民と行政との協働により、よりよい沼津を育む意識を醸成します。

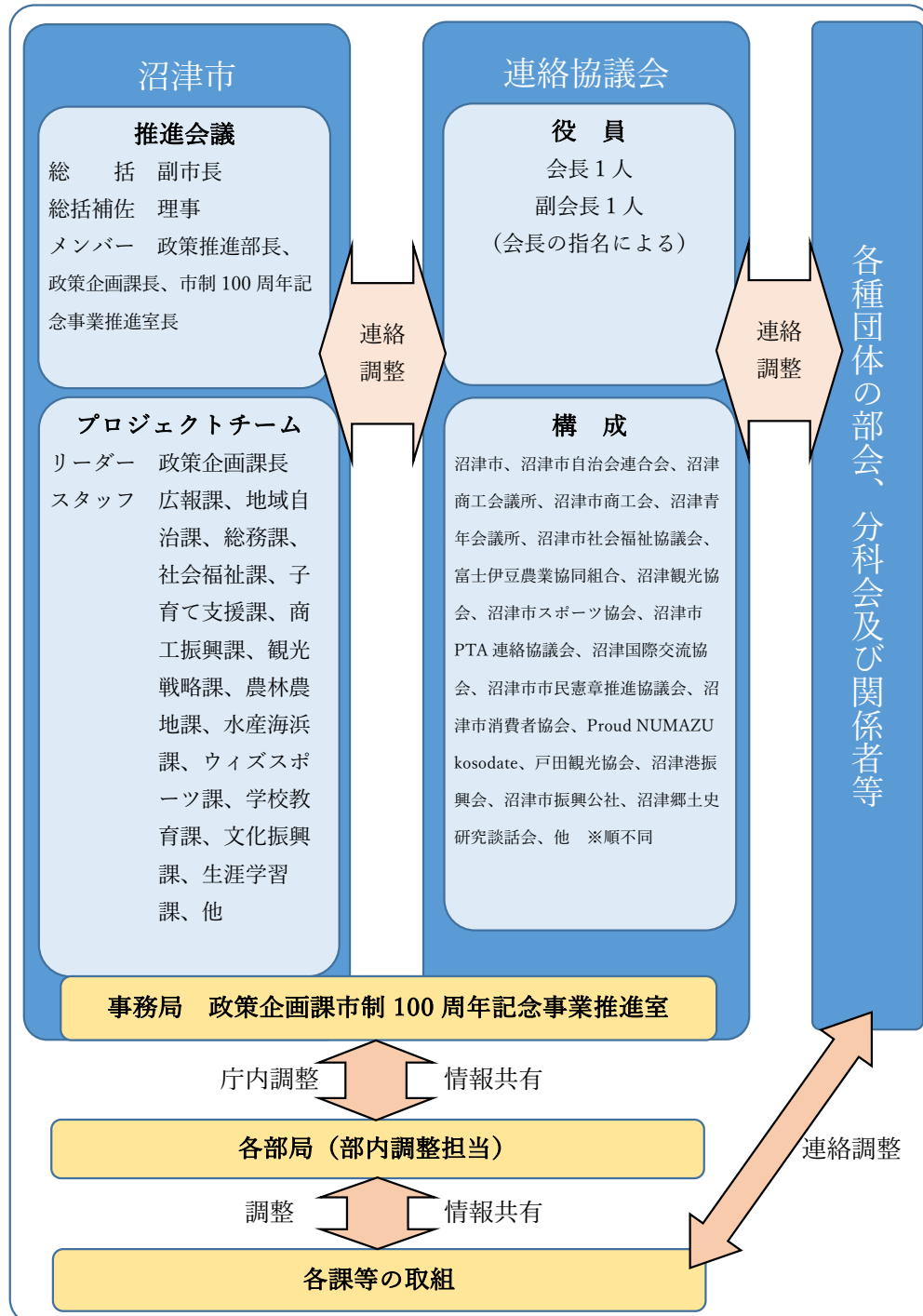
次の100年への新たな一步



新たな歴史が創り出されていくスタートとして、子ども達に誇れる未来を描き、誰もが未来の沼津に「夢」や「希望」を抱くことができる機会を創出します。

- 2 沼津市制100周年記念事業推進会議
市役所内の組織を総括して、記念事業を円滑に推進するために必要な調整・決定を行いました。
- 3 沼津市制100周年記念事業推進プロジェクトチーム
連絡協議会を構成する各種団体と連携し、組織横断的に記念事業を推進するため、プロジェクトチームを設置し、相互の連絡・調整等を行いました。

【推進体制イメージ図】



市制100周年記念ロゴマーク



ふたつの笑顔は、行政と市民、沼津に暮らす人と訪れる人などの協働のイメージを象徴しました。富士山の絶景ポイント、ミカンに代表される農産物、市の木である松と、沼津の海に飛ぶカモメや新鮮な魚介類など、沼津を彩るもので表現しました。

【作者】 手嶋雅晴 様（千葉県在住）

市制100周年記念キャッチフレーズ

きらり沼津。次の100年へ

先人の方々から受け継いだ沼津が、きらりと輝きを増して未来へと続いていくことをイメージしました。また、輝きを持続させるため、市民の方々の協力が必要であり、次の100年への歩みを、市民の皆さんと行政と一緒に一歩ずつ歩いていくイメージを表現しました。

【作者】 磯崎彰美 様（神奈川県在住）

市制100周年記念事業年表

プレ事業期間 令和4年6月1日から令和5年3月31日まで



記念事業期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

